

令和元年度 第3回研修会の記録

開催日 令和元年9月29日

研修テーマ	都市樹木の事故事例とリスク管理	参加者	埼玉支部 33名 他県支部 18名 一般 0名 計 51名
講師	細野 哲央 樹木医 (一社) 地域緑花技術普及協会 二階堂 由紀 樹木医 (埼玉県支部) (株) 樹診	場所	Withyou さいたま 視聴覚センター
資料	・都市樹木の事故事例とリスク管理 ・精密診断機器の各説明 人工空洞に対する検出誤差 P-point 資料	記録	江川 聡、田中 紘
目的	都市部に植栽され大径木化した樹木は、一見健康そうに見えても、その樹体には大きな障害が隠されていることもあり、近年の台風の大型化に伴い各地で倒木被害報告が上がっている。また、樹体内部の確認に利用する各診断機器の特性を再確認し比較検討することも重要である。本研修は樹木を取巻く社会情勢やリスク管理の考え方について学ぶとともに、安全点検指針の内容を理解し、樹木の保護・保全に役立てることを目的とする。		

研修内容

(第一部) 細野氏 都市樹木を取り巻く社会情勢、リスク管理の考え方、事故事例等のリスク管理総論

街路樹のリスク管理に関する歴史の変遷・事例の紹介から、「樹木のリスク管理」とは何か?の具体的な説明があり、事故による裁判例を交えた樹木のリスク管理の重要性についての解説。



(第二部) 二階堂氏 精密診断機器各機器の説明、人工空洞による実験結果からの検出誤差について

精密診断機器の特性の説明があり、人工空洞を使った各精密診断機器での測定結果を比較。この結果から、診断機器の選択、検出誤差の傾向の理解が必要となることの解説。

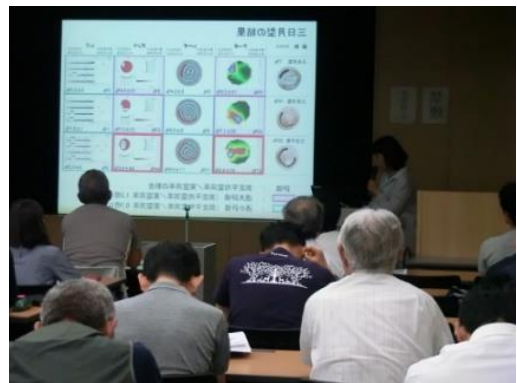


(第三部) 細野氏 都市公園樹木の安全点検指針に沿った点検の内容について

都市樹木の点検・診断を適切に行い、それに応じた措置・対策を講じることにより、樹木の安全性確保と健全な育成が出来ることについて、具体例を交えての解説。



講義風景(細野氏)



講義風景(二階堂氏)